

感染症に気をつけよう!

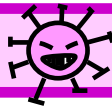
2016年【2月号】



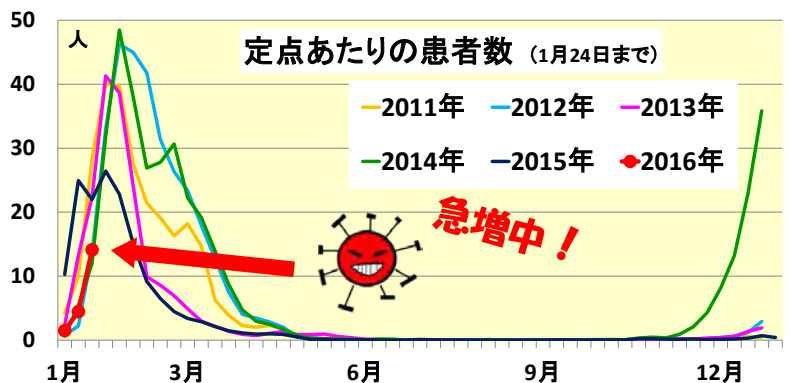
横浜市内の感染症 流行状況

感染症	流行状況		説明	【解説付き既刊号】	← クリック
インフルエンザ	流行	増加	1 月末に 注意報 が出ています。今後、本格的な流行が予想され、予防や早期受診など 十分な注意が必要です 。【'15.2号】		
感染性胃腸炎	流行	横ばい	多発している区や、集団発生もまだ報告されています。 手洗いを習慣づけ、引き続き注意 しましょう。【'16.1号】		

今、気をつけたい感染症 インフルエンザ



- 患者の年齢では **10 歳未満の増加**が目立ち、中でも **5 歳以上の**集団生活を送っている子供が多くなっています。
- **学級閉鎖**や、入院が必要な**重症化例**も増加しています。



■ 予防の基本は**正しい手洗い**です。また、普段から**栄養と睡眠**をしっかりと取って、**抵抗力**を高めておきましょう。

■ **インフルエンザワクチン**は予防方法として大切です。症状が出る可能性を減らし、症状が出ても重症化を防ぐ効果があります。かかりつけ医に相談して、**早目に接種**しましょう。



■ もし症状が出てしまったら、周囲の人に感染を広げないように**咳エチケット**を守り、早目に受診してください。

■ 抗インフルエンザ薬を使って熱が下がっても、他の人にうつす場合があります。**学校等については**、「症状が出てから5日間が過ぎ、かつ、熱が下がった後2日間(幼児は3日間)は休むこと」とされています。かかりつけ医に相談しましょう。

